

グラフで見る東海経済(2023年7月)

2023年7月27日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～持ち直しの動きがみられる

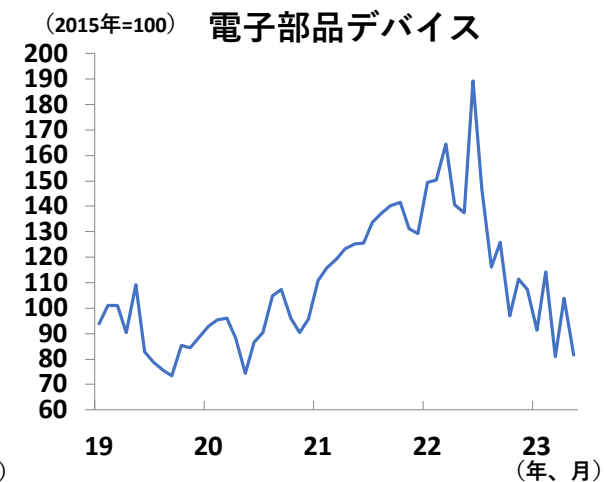
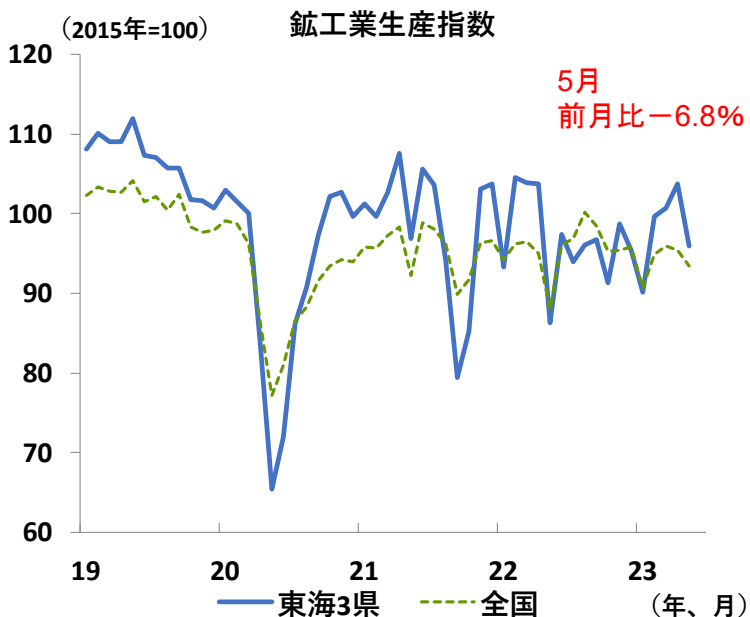
【今月のポイント】

- 東海経済は、持ち直しの動きがみられる。
- 5月の生産は、前月比-6.8%と4ヵ月ぶりに低下したが、均してみると持ち直しの動きがみられる。
- 5月の実質輸出は前月比-0.7%と4ヵ月ぶりに低下した。
- 個人消費は、物価上昇の影響が懸念されるが、ウィズコロナの定着により持ち直しの動きがみられる。自動車販売も、持ち直しの動きがみられる。
- 有効求人倍率は全国を上回るが、このところ低下している。

項目	現状
景気全般	持ち直しの動きがみられる
生産	持ち直しの動きがみられる
輸出	持ち直しの動きがみられる
設備投資	持ち直している
雇用	持ち直しの動きが鈍化
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	高めの水準となっている

生産

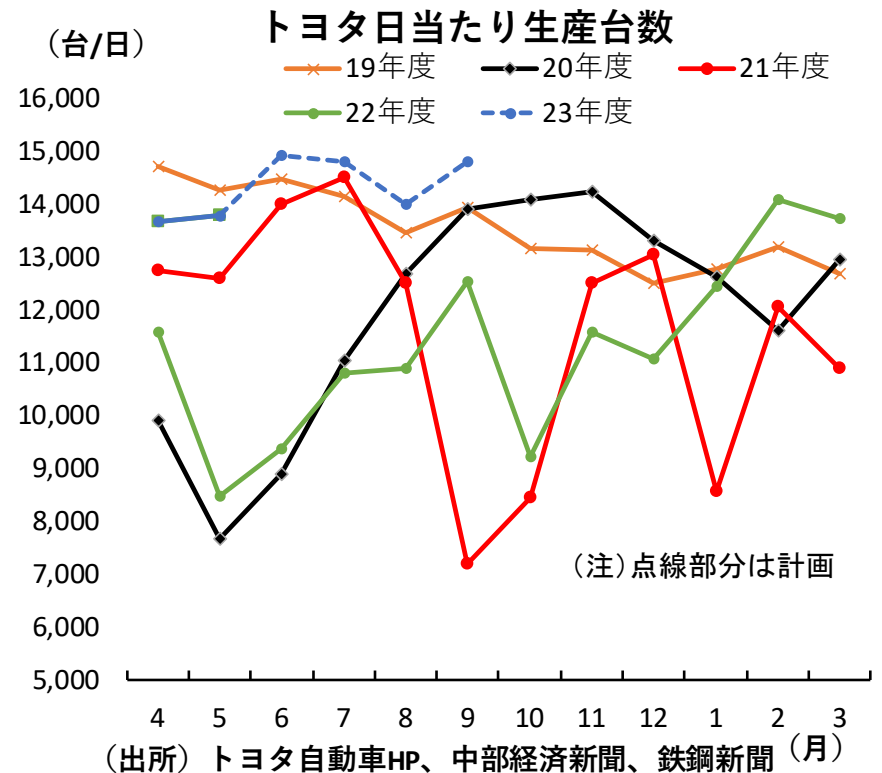
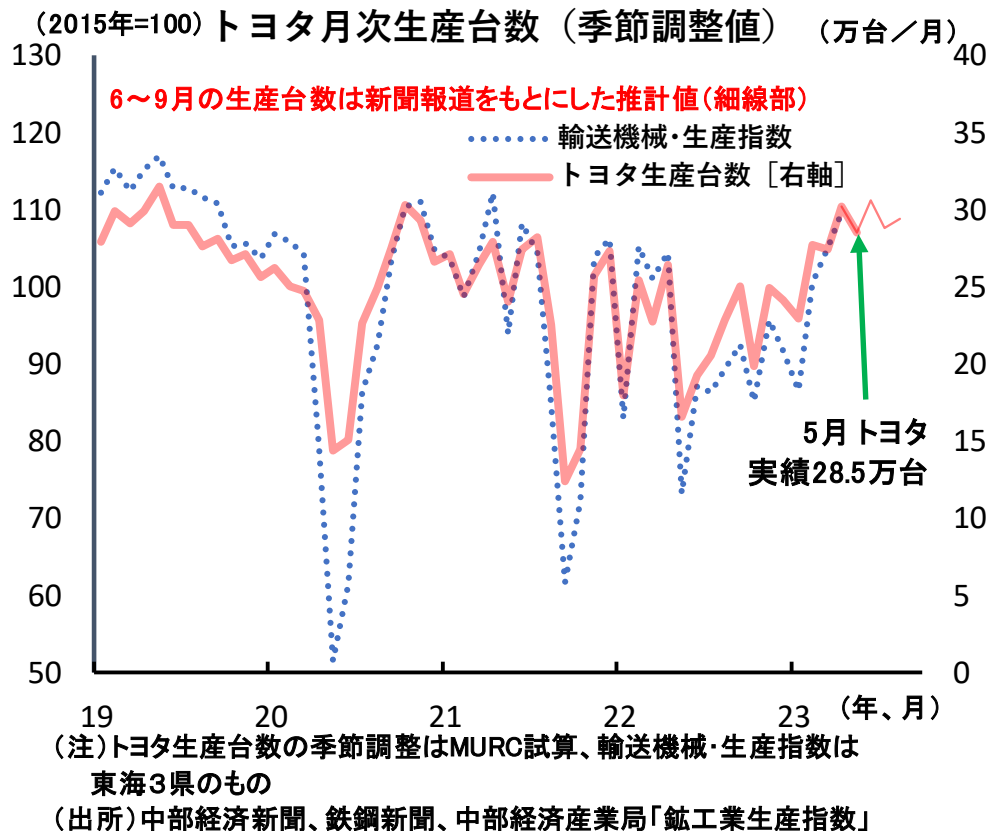
5月の鉱工業生産(東海)は前月比-6.8%と4カ月ぶりに低下したが、均してみると持ち直しの動きがみられる(前年比では+14.6%と増加)。輸送機械、汎用・生産用・業務用機械など主要業種が低下した。



(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

生産（トヨタ国内生産）

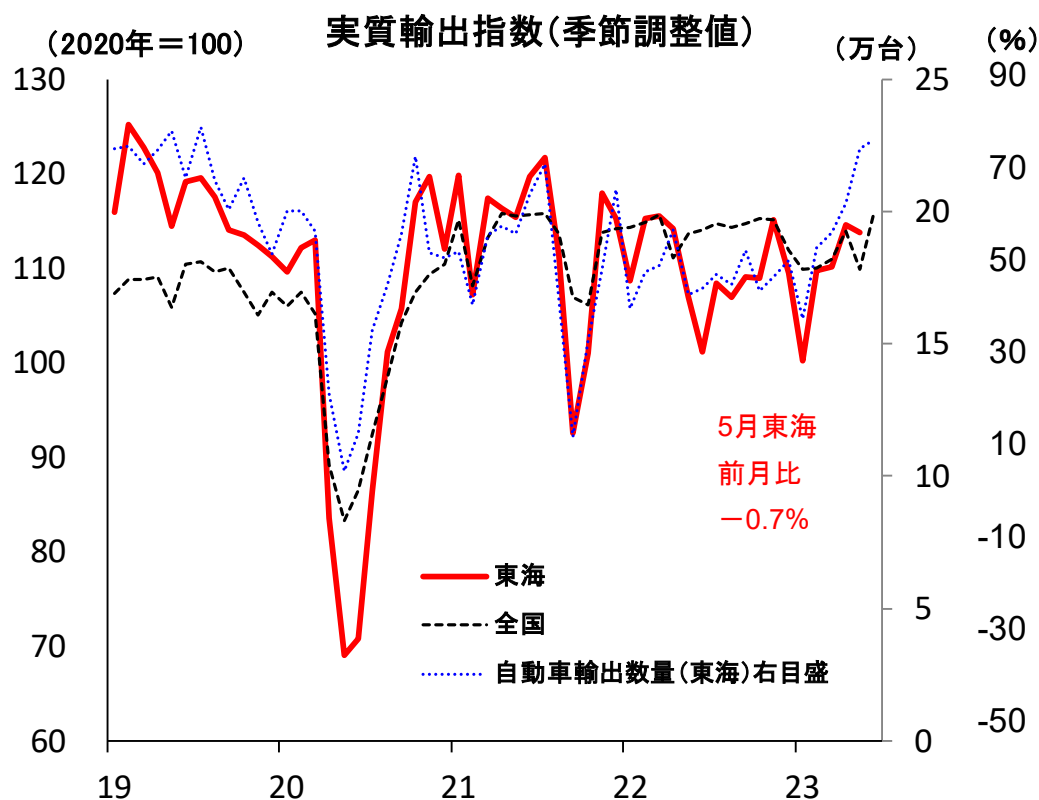
5月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は28.5万台と前月から減少した。先行きは、車載半導体の安定調達には不確実性が残るものの、設計変更などの対応により持ち直し基調が続くと見込まれている。



輸出

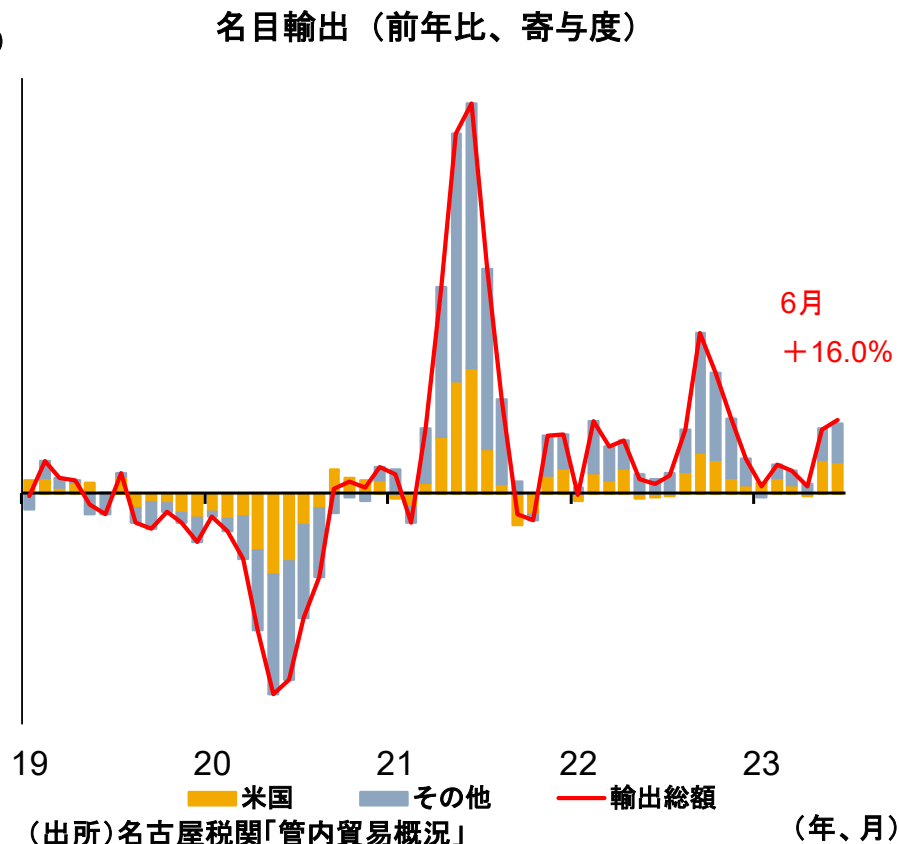
5月の実質輸出指数(季節調整値)は、前月比-0.7%と4ヵ月ぶりに低下した。

6月の名目輸出額は、前年比+16.0%と17ヵ月連続のプラスとなった。業種別では、自動車と同+59.5% (寄与度+16.1%pt)と大幅増となり、数量ベースでも同+34.1%と増加した。地域別ではアジア向けが減少となったが、米国、EU、その他向けが増加した。



(出所)日銀名古屋支店「実質輸出入」、名古屋税関
(注)自動車輸出数量(名古屋税関)の季調はMURC

(年、月)

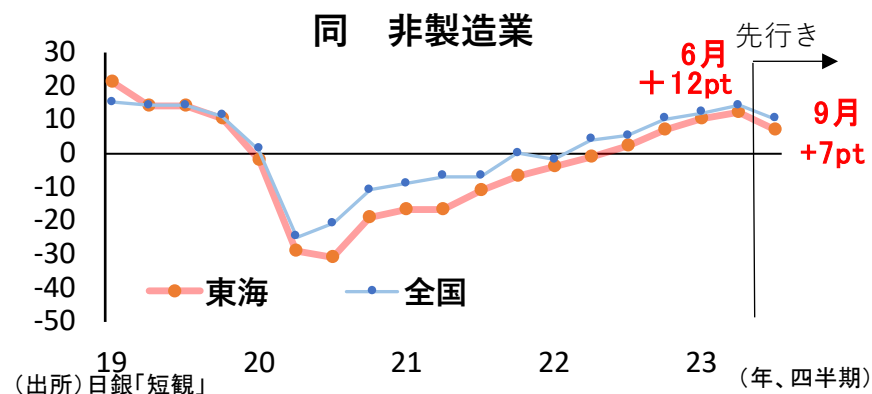
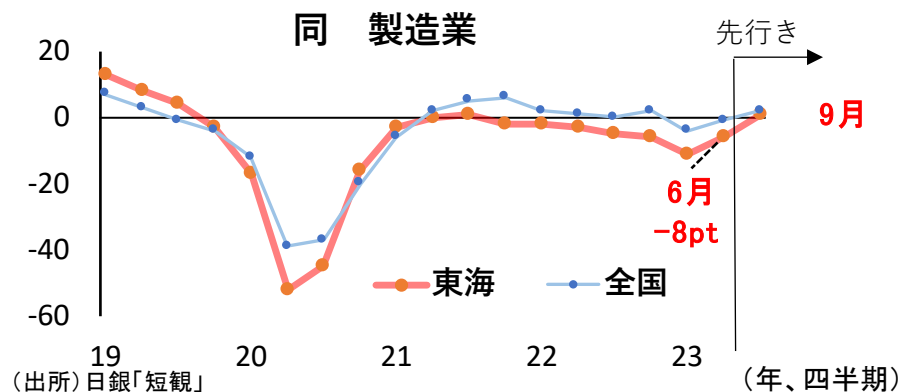
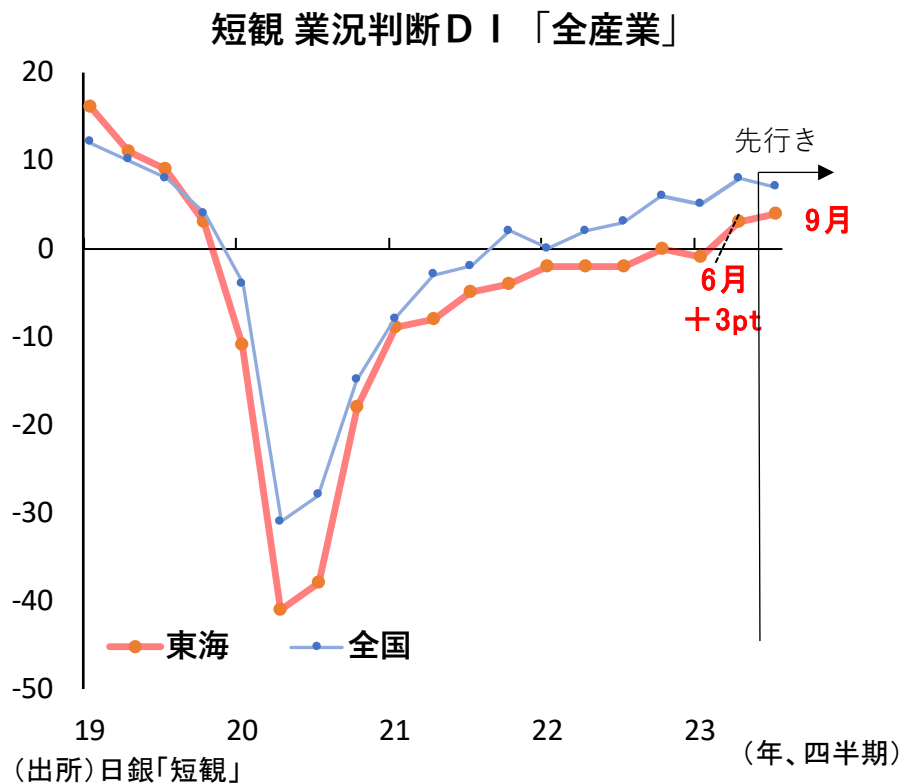


(出所)名古屋税関「管内貿易概況」

(年、月)

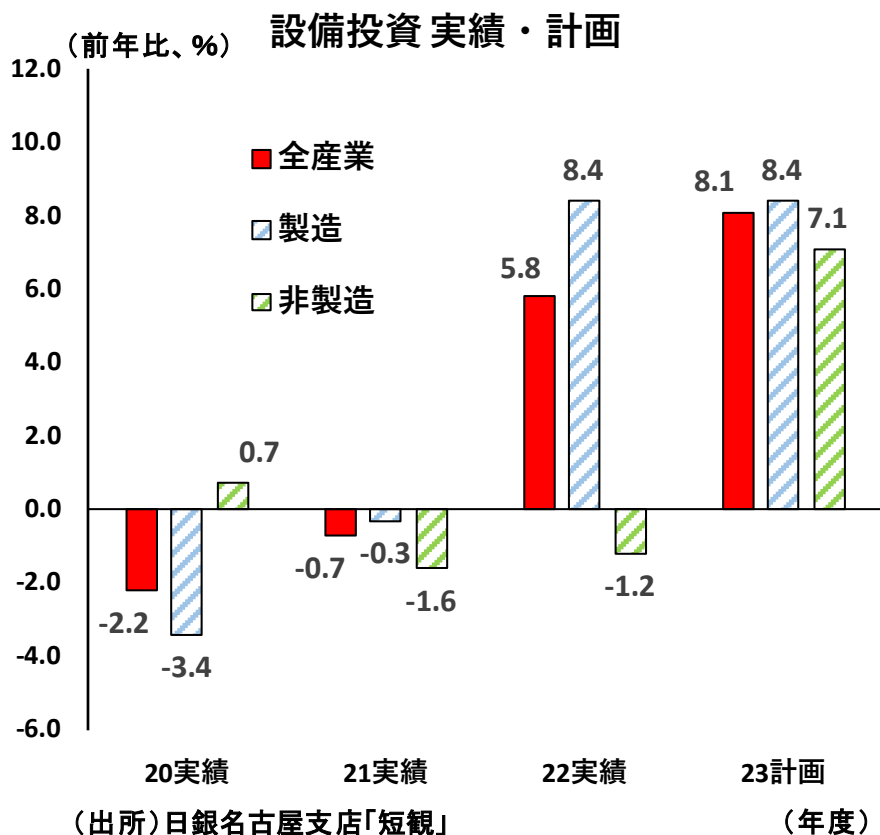
企業景況感(日銀短観)

日銀短観6月調査の業況判断DIIは、全産業で+3ptと3月調査(-1pt)から改善した。製造業、非製造業ともに改善したが、製造業は「悪い」超、非製造業は「良い」超となった。製造業では自動車は改善する一方、はん用機械、電気機械が悪化した。非製造業では、宿泊・飲食サービスが改善した。先行きについては、製造業で改善、非製造業で悪化を見込んでいる。



設備投資(日銀短観)

日銀短観6月調査によると、23年度の設備投資計画は、製造業で前年比+8.4%、非製造業で同+7.1%と前回調査から上方修正となった。製造業でははん用機械、生産用機械、電気機械などが大幅増の計画、非製造業では卸・小売り、対個人サービス、宿泊・飲食サービスなどが大幅増を見込んでいる。



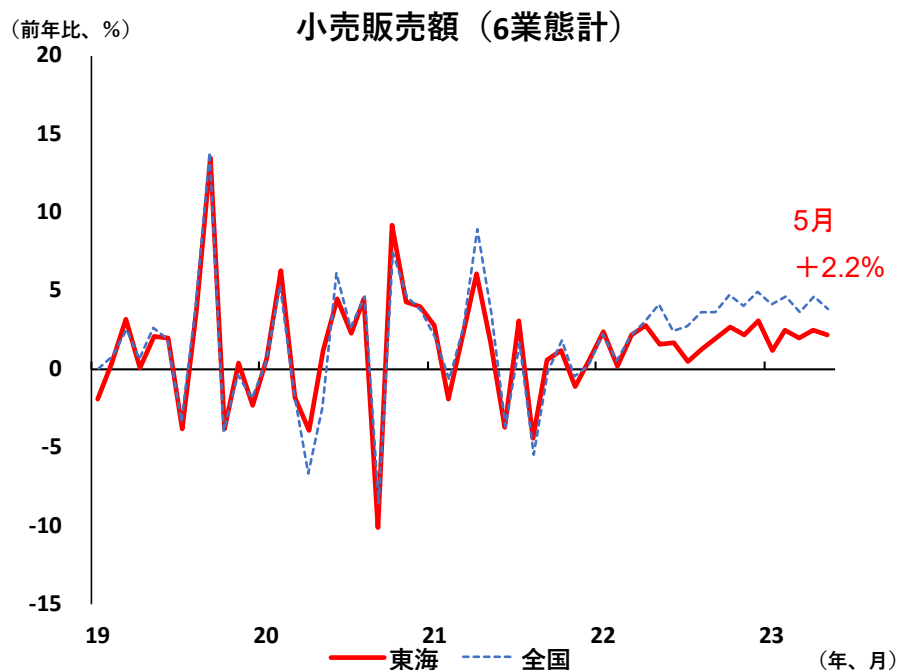
設備投資額 (前年比%)

	22年度実績	23年度計画	
		今回調査	前回調査 (前回調査との差異)
全産業	5.8	8.1	(6.6)
製造業	8.4	8.4	(7.2)
非製造業	-1.2	7.1	(4.8)

個人消費（小売売上、自動車販売）

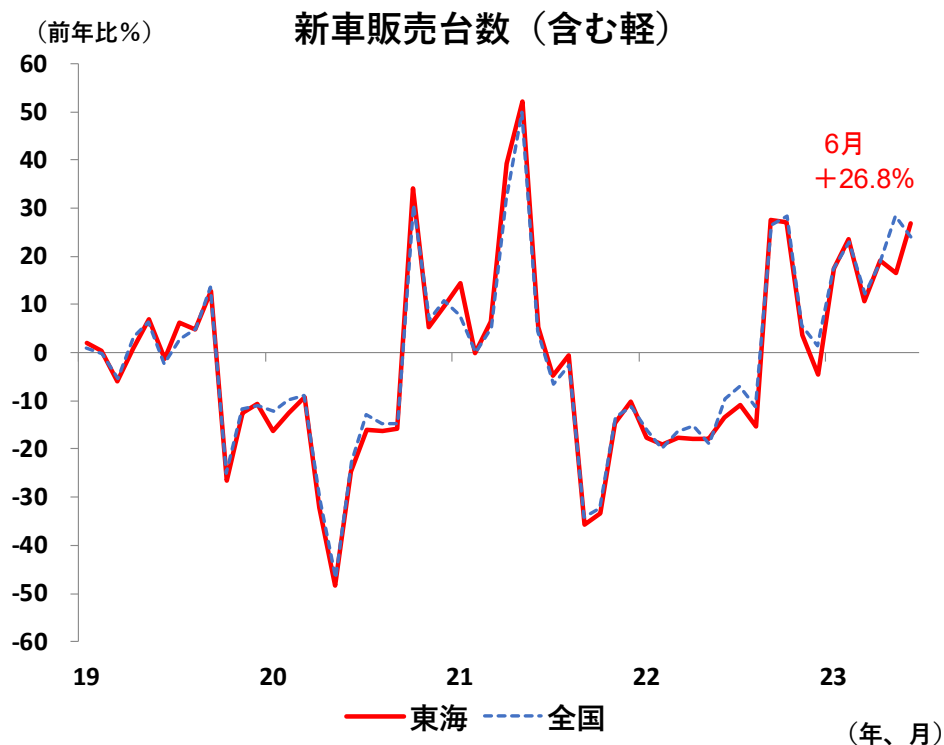
5月の小売販売額は前年比+2.2%と18カ月連続でプラスとなった。先行きは、物価上昇の影響が懸念されるが、ウィズコロナの定着により持ち直しの動きが続くとみられる。

6月の新車販売は、前年比+26.8%と6カ月連続でプラスとなった。水準はコロナ前を下回る状態が続くものの、持ち直しの動きがみられる。



（出所）経済産業省「商業動態統計」

（注）百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



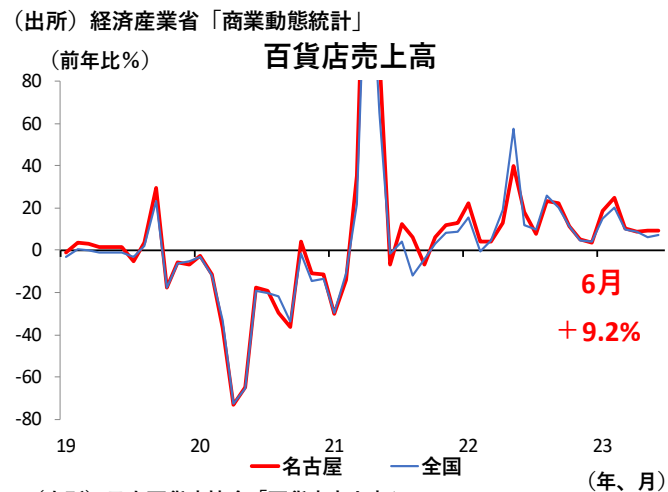
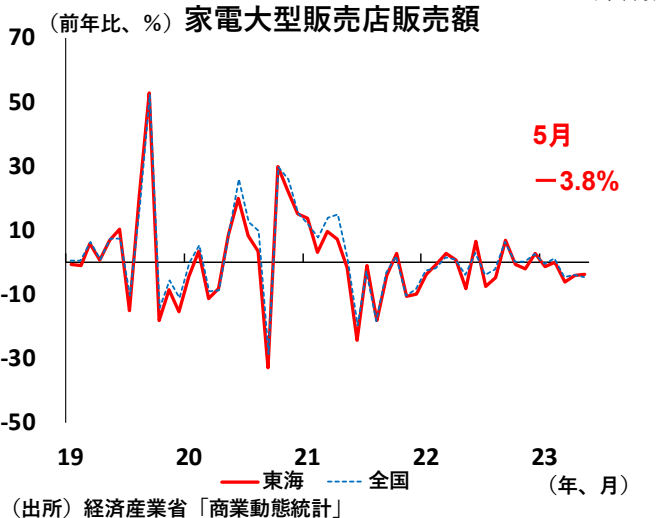
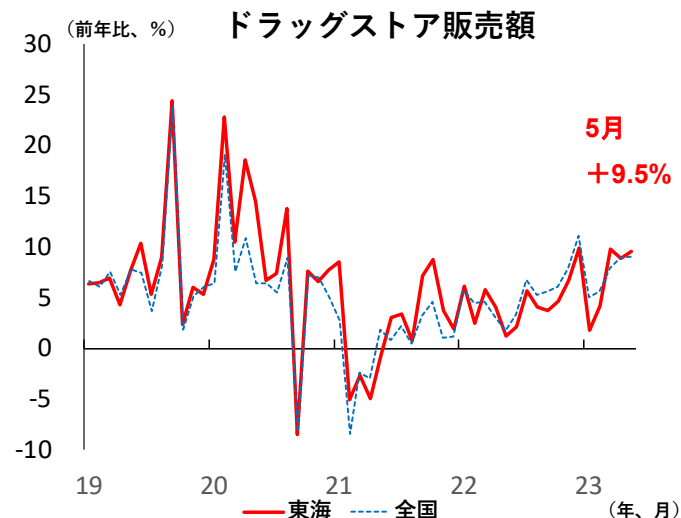
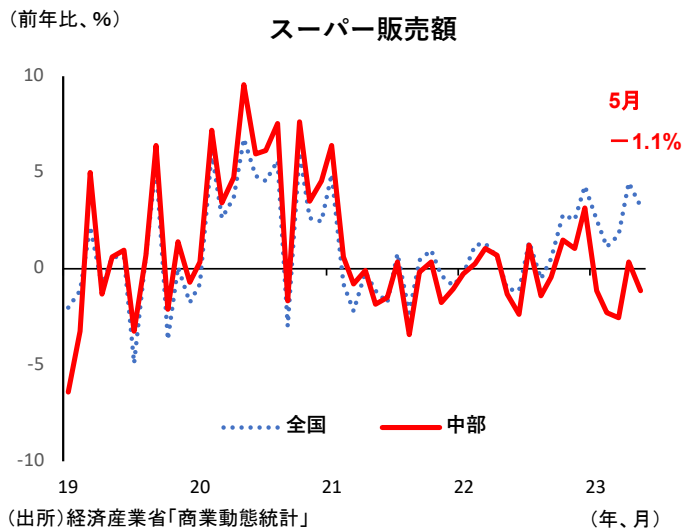
（出所）日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

5月の業態別小売販売は、スーパー(中部5県)は前年比-1.1%と2ヵ月ぶりに減少した。

6月の百貨店売上(名古屋)は、外出の増加も影響して前年比+9.2%と21ヵ月連続のプラスとなった。

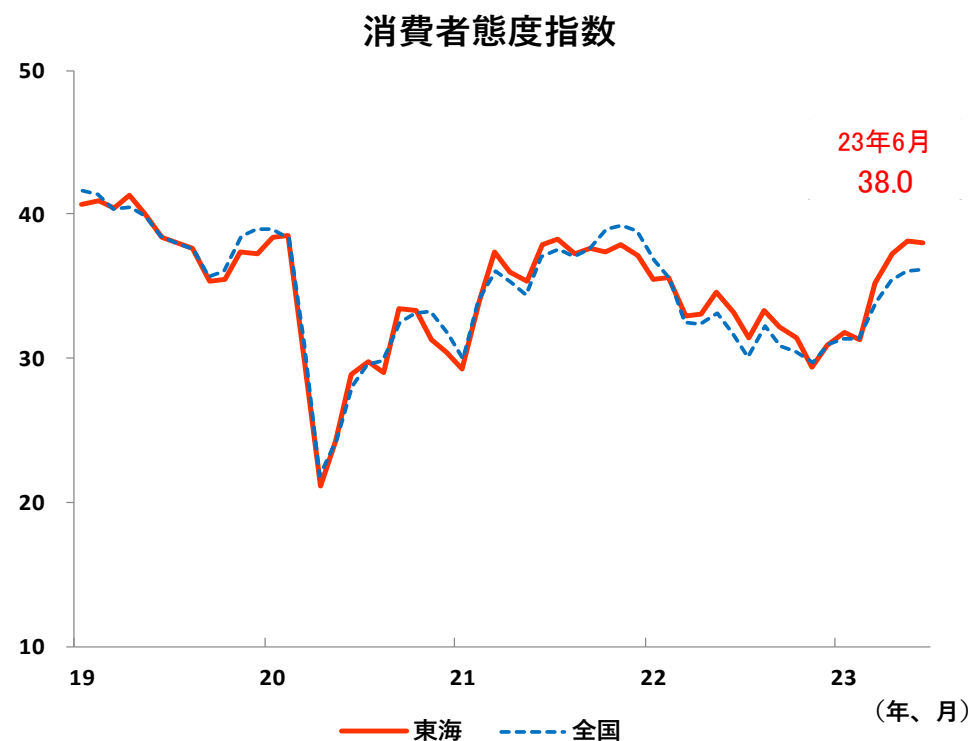
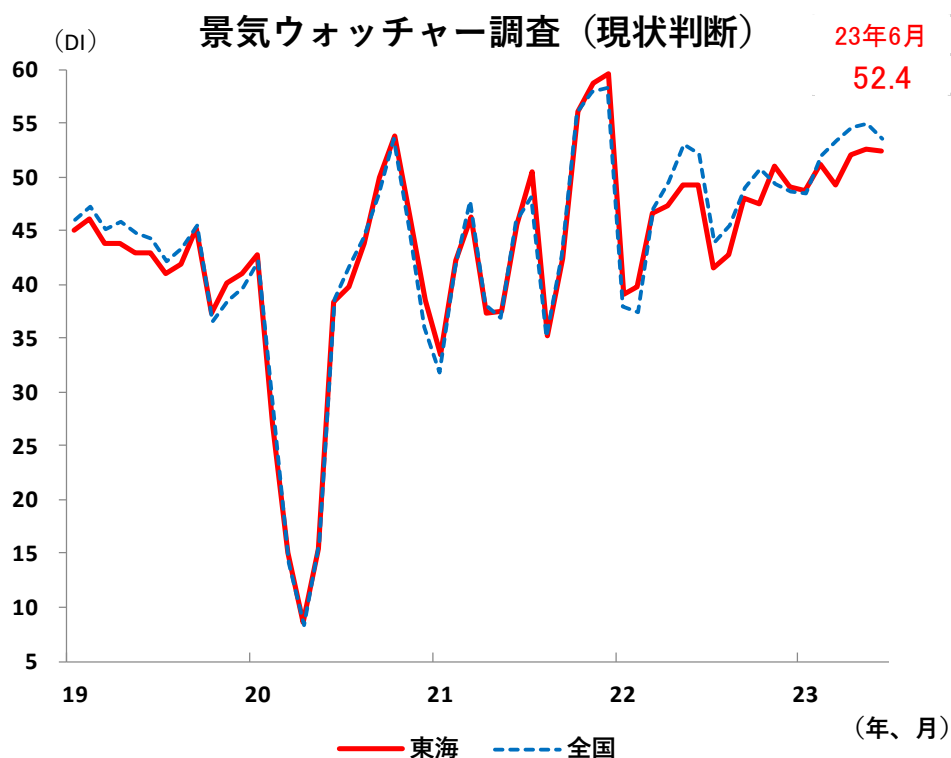


(注) 店舗調整後前年比

マインド・景況感

6月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差-0.1ポイントの 52.4と3カ月ぶりに低下したが、横ばいを示す 50 を3カ月連続で上回った。景況感は持ち直している。

6月の消費者態度指数は4カ月ぶりに小幅低下した。



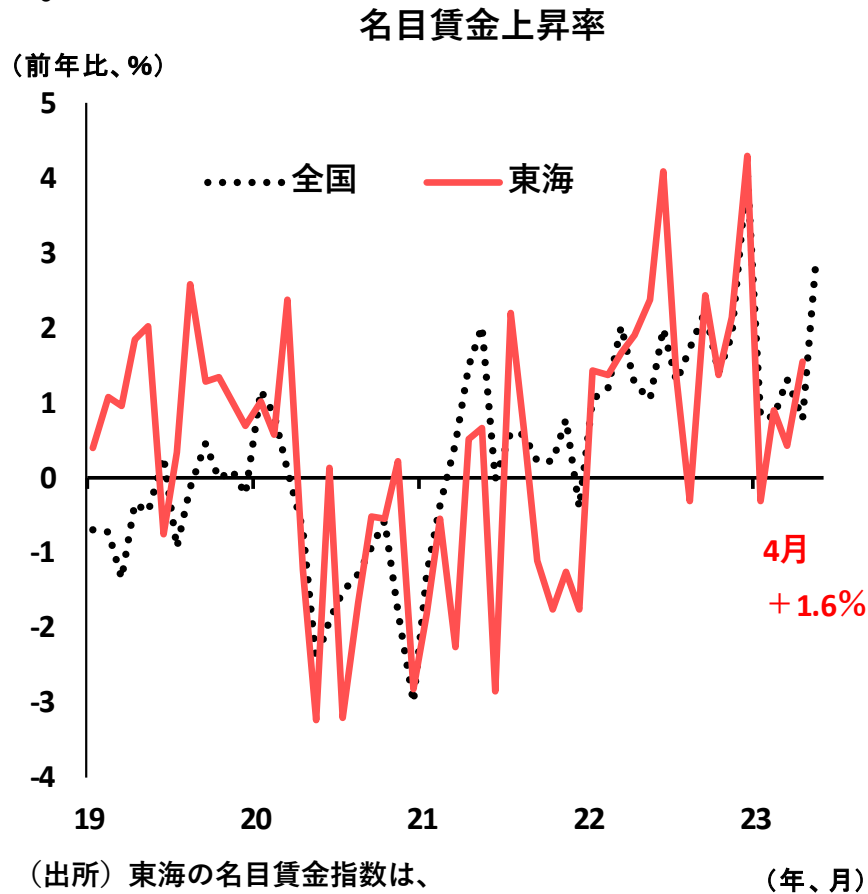
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

(注)東海の季節調整値はMURC試算

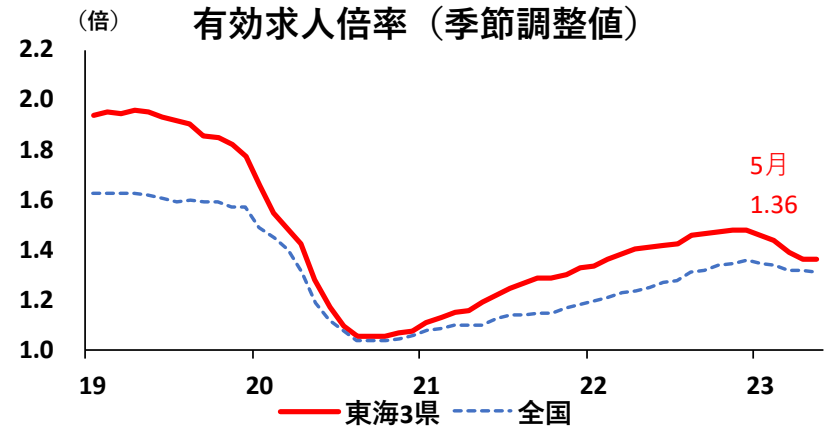
(出所)内閣府「消費動向調査」

賃金・雇用

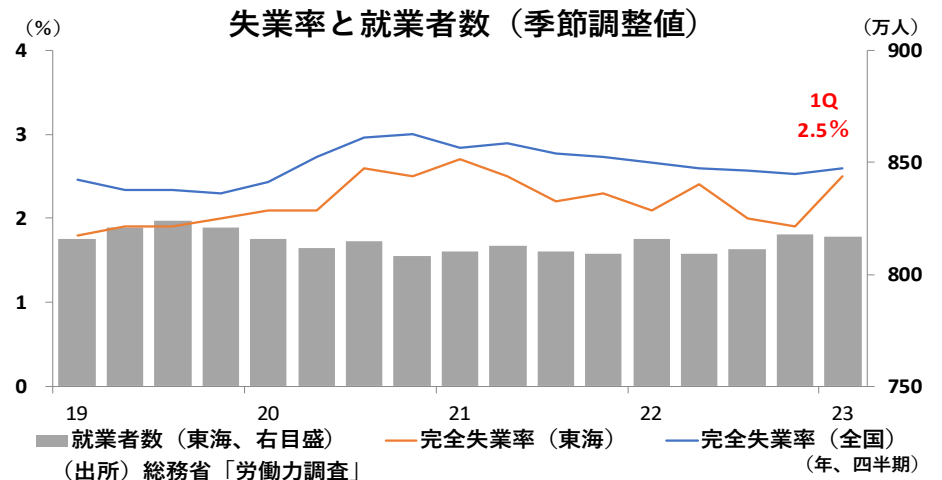
4月の名目賃金は、前年比+1.6%と3カ月連続のプラスとなった。岐阜県、三重県は低下したが、愛知県が上昇した。5月の有効求人倍率は1.36と5カ月連続で低下。全国に比べ求人倍率が高い状態が続いているが、このところ差が縮小してきている。23年1-3月期の失業率は2.5%と上昇。就業者数は概ね横ばいとなった。



(出所) 東海の名目賃金指数は、
愛知、三重、岐阜の指数よりMURC作成

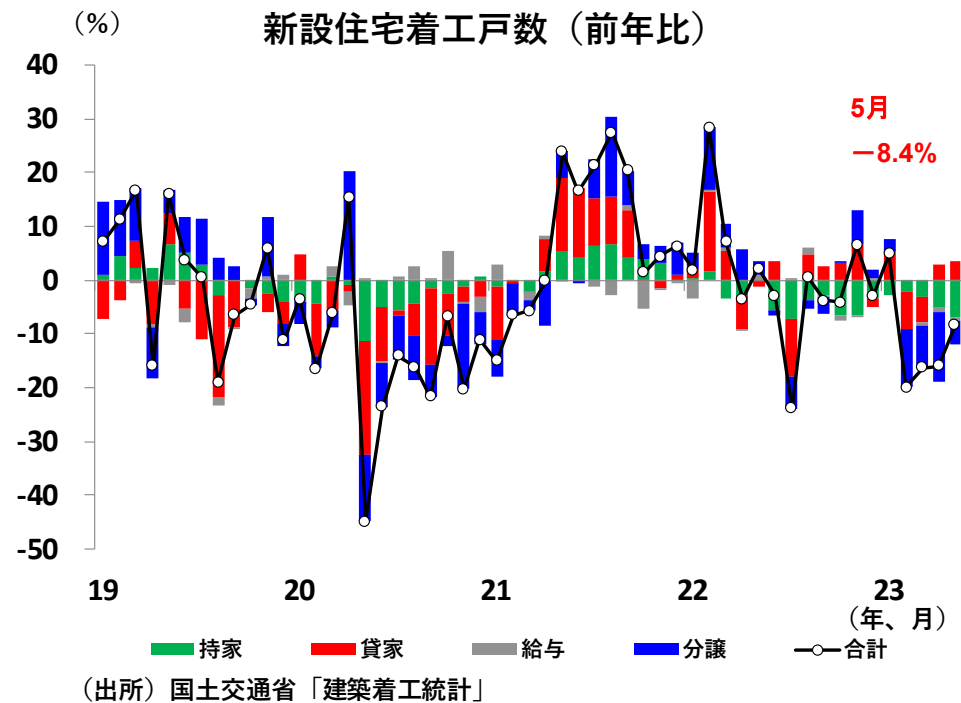
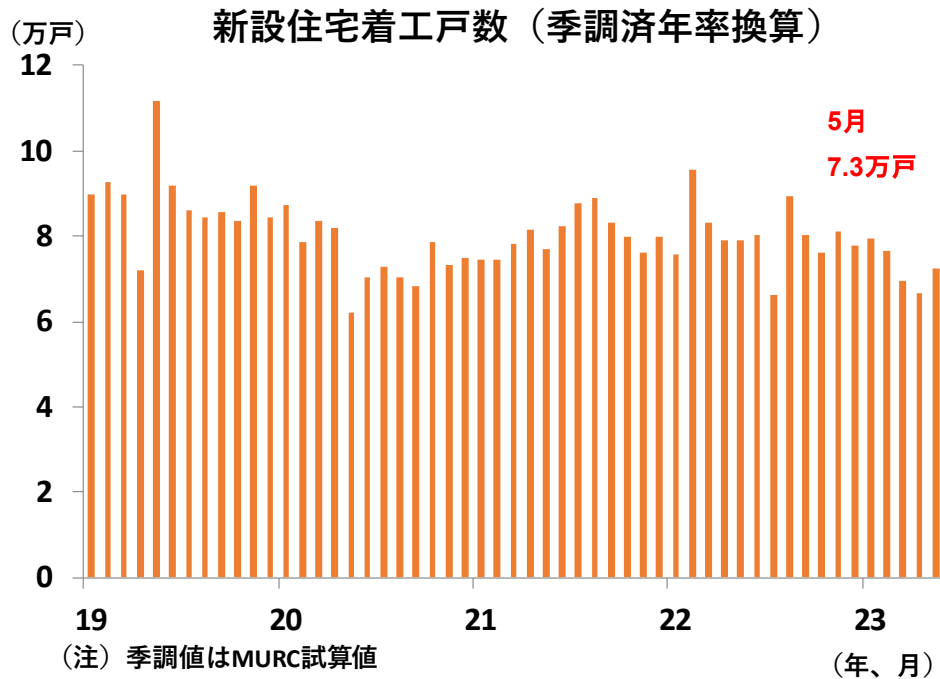


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



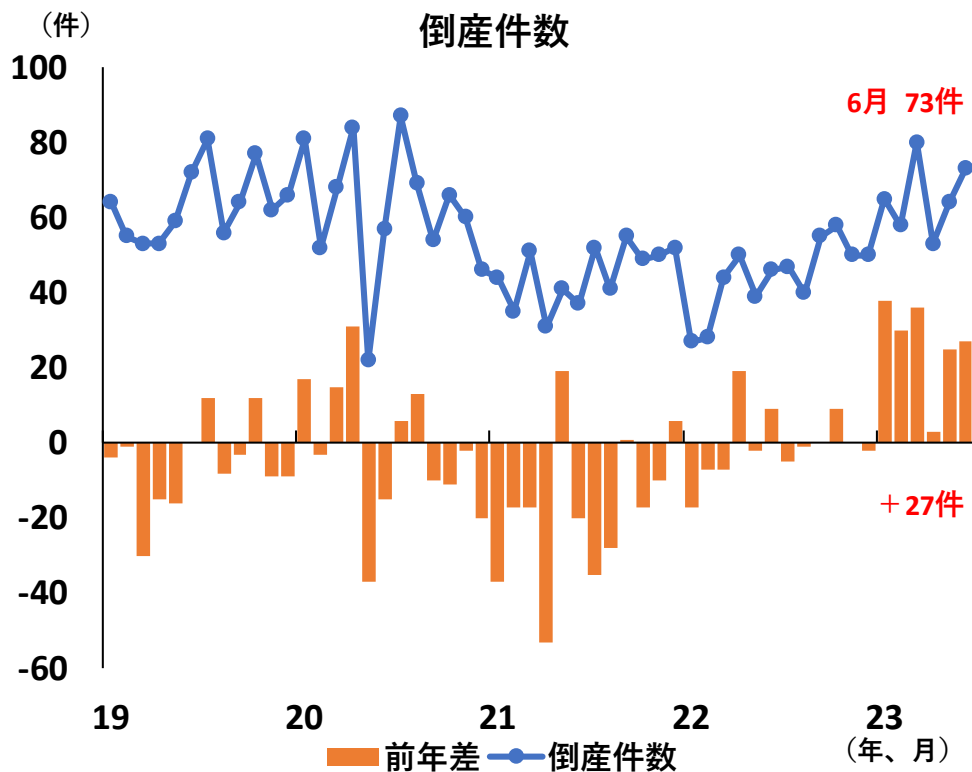
住宅投資

5月の住宅着工は季調・年率で7.3万戸と4ヵ月ぶりに増加したが、4ヵ月連続で前年を下回った（前年比－8.4%）。利用関係別では貸家は増加したが、持家、分譲が減少した。



倒産

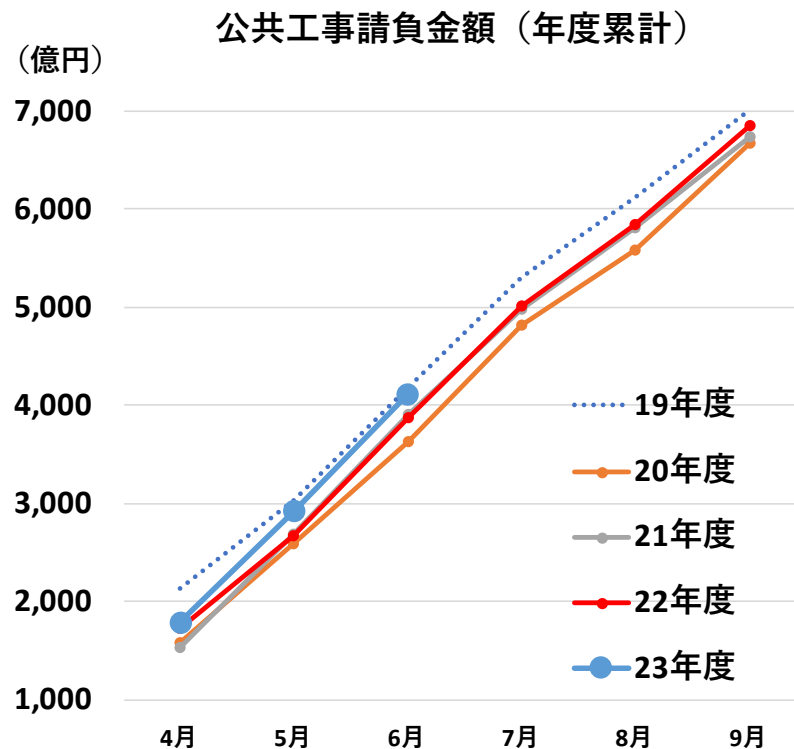
6月の倒産件数は前年差+27件の73件。増加幅が拡大した。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

6月の公共工事請負金額(年度累計)は、前年比+6.4%の4,113億円。近年では高めの水準となっている。

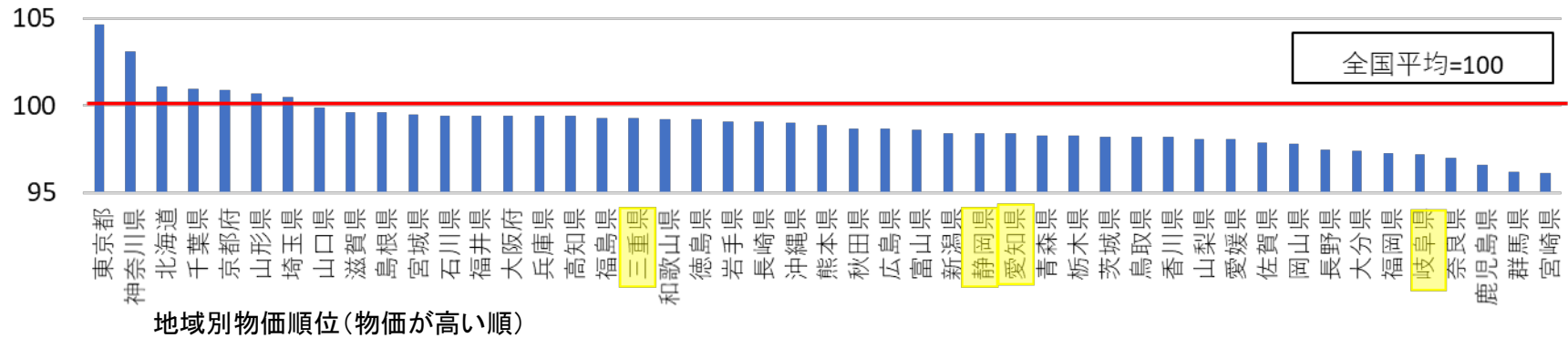


(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

【Topic】 東海の物価水準は、相対的には低めで推移

- 住居、食料、交通・通信が、全国平均からの水準の引き下げに寄与
- 東京、神奈川が高水準なのは、住居、食料の寄与が大きい

消費者物価地域差指数（総合）（都道府県）2022年

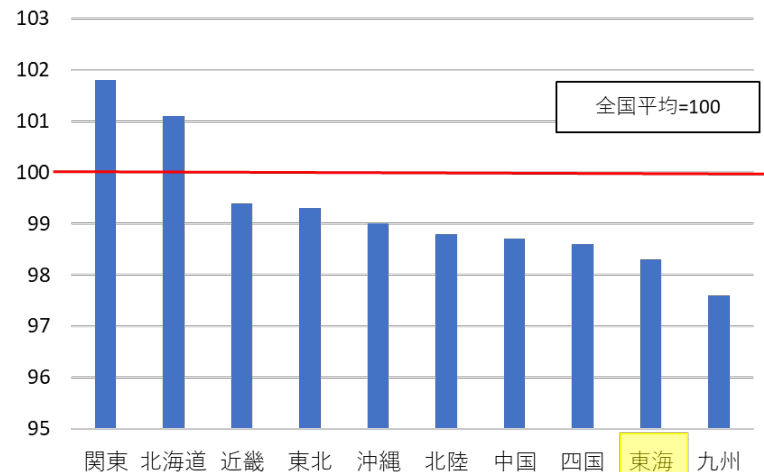


年	東海	岐阜	静岡	愛知	三重
13	8	44	34	19	28
14	6	44	31	16	22
15	8	44	35	29	33
16	9	42	37	34	26
17	9	39	32	37	26
18	9	39	29	37	26
19	9	43	29	39	23
20	9	42	26	39	22
21	9	43	28	35	21
22	9	43	28	28	17

10ブロック
中の順位

47都道府県中の順位

消費者物価地域差指数（総合）（地方）2022年



(出所)総務省「消費者物価地域差指数」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、執筆時点で信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください